

15 Asking about skills and ability 「技術と能力について尋ねる」

1 会話を聞いて、答えを選んでみましょう。

Kei can speak English. (ケイは英語が話せます。)

A **Yes.** (はい。)

B **No.** (いいえ。)

正解 : A **Yes.** (はい。)

解説 : ハインリックの “So you can speak Japanese and English?” 「それじゃ日本語と英語が話せるの？」という質問に対して、ケイは “Well, sort of.” 「まあ、そんなとこかな。」と答えています。そのことからケイは英語が話せることが分かります。よって正解は A **Yes.** (はい。) となります。

「主語は～することができます。」と技術や能力について述べる時は「主語 can 動詞の原形+ (目的語)」を使います。「主語は～することができますか？」と技術や能力について尋ねる場合は、“Can 主語 動詞の原形+ (目的語) ?”を使います。また「主語 can 動詞の原形+ (目的語)」という語順でも、会話では文末を上がり調子で発音すると質問文になります。

Heinrich can speak German. (ハインリックはドイツ語が話せます。)

A **Yes.** (はい。)

B **No.** (いいえ。)

正解 : A **Yes.** (はい。)

解説 : ハインリックは “I can speak English, French and German.” 「英語と、フランス語と、ドイツ語が話せるよ。」と言っています。よって正解は A **Yes.** (はい。) となります。

Heinrich cannot speak Japanese. (ハインリックは日本語が話せません。)

A **Yes.** (はい。)

B **No.** (いいえ。)

正解 : B **No.** (いいえ。)

解説 : ハインリックは “I can also speak some Japanese.” 「それから日本語も少し (話せるよ)」と言っています。従って「ハインリックは日本語が話せない。」というのは間違っているので、正解は B **No.** (いいえ。) となります。

2 あなたの場合ならどうかを、答えてみましょう。できることなら “Yes, I can.” できないことなら “No, I can't.” と言ってみましょう。

Can you swim? (あなたは泳げますか？)

正解例：“Yes, I can.”「はい、私はできます。」/“No, I can’t.”「いいえ、私はできません。」

解説：「あなたは～することができますか？」と技術や能力について尋ねる時は“Can you 動詞の原形 + (目的語) ?”を使います。この質問には“Yes, I can.”「はい、私はできます。」または“No, I can’t.”「いいえ、私はできません。」と答えます。また“Can you...?”「～できますか？」の代わりに“Do you know how to...?”「どうやって～するか知っていますか？」を用いることができます。例) “Do you know how to drive a car?”「あなたはどうやって車を運転するか知っていますか？」

Can you ride a bicycle? (あなたは自転車に乗れますか？)

正解例：“Yes, I can.”「はい、私はできます。」/“No, I can’t.”「いいえ、私はできません。」

解説：この質問には“Yes, I can.”「はい、私はできます。」または“No, I can’t.”「いいえ、私はできません。」と答えます。日常の自由な会話では“Yes.”/“No.”だけで答えても構いません。

Can you speak French? (あなたはフランス語が話せますか？)

正解：“Yes, I can.”「はい、私はできます。」 “No, I can’t.”「いいえ、私はできません。」

解説：ある言語を話せるかどうか尋ねる場合は“Can”より“Do”を用いるのが普通です。“Do you speak French?”「あなたはフランス語を話しますか？」で“Can you speak French?”「あなたはフランス語が話せますか？」と同じ意味になります。答える時は“Well, sort of.”「まあ、いくらかは。」や“I can speak some French.”「私はフランス語が少し話せます。」などいろいろな言い方ができます。